



教 総 第 2 3 6 号

令和 7 年 7 月 3 0 日

大牟田市立学校

適正規模・適正配置検討委員会委員長 様

大牟田市教育委員会



大牟田市立学校適正規模・適正配置計画第 2 期実施計画に係る
進捗整理及び今後の小学校の再編整備のあり方について（諮問）

標記の件について、下記のとおり理由を付して諮問します。

記

1 諮問事項

大牟田市立学校適正規模・適正配置計画第 2 期実施計画に係る進捗整理及び今後の小学校の再編整備のあり方について

2 諮問理由

本市では、児童・生徒の学校教育環境の整備を図るため、小規模化した学校の再編整備を推進しており、現在は令和元年 1 1 月策定の「大牟田市立学校適正規模・適正配置計画第 2 期実施計画（令和 3～9 年度）」（以下「第 2 期実施計画」という。）に基づき、中学校の再編整備に取り組んでおります。

一方、小学校の再編については、次期計画で改めて策定することとし、令和 7 年度に検討委員会を設置し、検討を行うこととしています。

近年、子どもの出生数は加速度的に減少しており、令和 6 年度は 5 0 0 人を下回っています。また、児童生徒数の推計等から、今後も小・中学校の小規模化の進行が見込まれ、令和 1 3 年度には、1 9 小学校中 1 6 校が適正規模に満たない小規模校になると想定しています。

そこで、第 2 期実施計画に係る進捗整理を行うとともに、今後の小学校の再編整備のあり方について、諮問を行うものです。

（1）第 2 期実施計画に係る進捗整理

ア 白川小学校と平原小学校の再編

平成 2 6 年 3 月策定の「大牟田市立学校適正規模・適正配置計画」では、白川小

学校と平原小学校について、全市的な小学校再編より先行して再編することとしていました。しかし、平原小学校の児童数が増え、学級数が一定規模で維持されることとなったことから、令和5年度に第2期実施計画の進捗整理を行い、先行して再編することなく第2期実施計画のとおり令和7年度に検討委員会で検討することとしました。

そのため、今後の児童数の推計等を踏まえ、両校の再編計画について整理が必要です。

イ 小規模特認校制度

小規模化が進み複式学級編制が見込まれる上内小学校と玉川小学校について、複式学級の回避策として、小規模特認校制度を導入しています。しかし、小規模特認校制度の導入によっても、今後さらに学校の小規模化が進み、複式学級の発生が見込まれることから、小規模特認校制度並びに学校再編のあり方について、改めて整理が必要です。

(2) 今後の小学校の再編整備のあり方について

第2期実施計画では、小学校の再編は次期計画で改めて策定することとし、令和7年度に検討委員会を設置し検討を行うこととしています。小学校は、児童の学習の場であるとともに、本市の地域コミュニティは小学校単位で形成されており、行政全般で市民生活と密接に関連しています。そのため、市内全域を対象とする新たな小学校の再編計画の策定に当たっては、よりよい教育環境の確保に向けた観点を中心にしながら、地域の地理的条件や実情等、様々な観点から検討が必要です。

そこで、今後の小学校の再編整備のあり方について、諮問を行うものです。